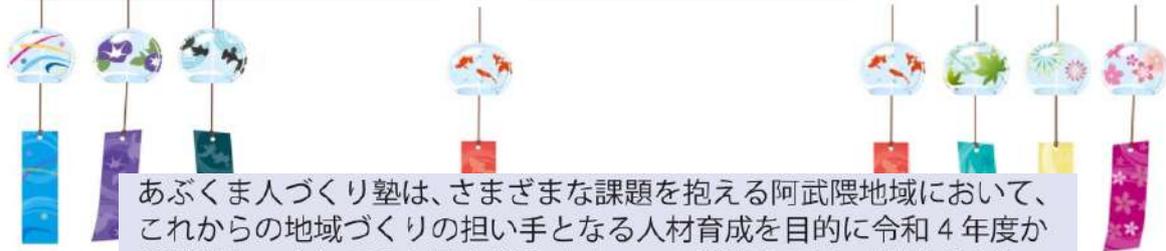


# あぶくま人づくり塾 キックオフ講演会

阿武隈地域人材育成事業

～人と人をつなぐコミュニティ形成を学ぶ～



あぶくま人づくり塾は、さまざまな課題を抱える阿武隈地域において、これからの地域づくりの担い手となる人材育成を目的に令和4年度から開催し、今年で3年目を迎えます。この講演会では、地域づくりへの関心をさらに強め、実践に移ろうという意欲づくりを目的としています。そして、さらに広く、深く学びたい人のために、2回のワーク

国立大学法人 宇都宮大学  
地域デザイン科学部 石井大一郎

## 自己紹介

神奈川 to 栃木  
2016

横浜や平塚などにおいて自治会町内会のまちづくり支援、地区センター職員研修、地域福祉計画策定支援、横浜市市民活動支援センター副責任者、西区市民活動支援センターを担当。その他、地域づくり大学校、よこはま食事サービス連絡会事務局、復興庁ソーシャルビジネス事業を担当。

委員等：

- ▶ 横浜市協働事業検証推進会議 委員2008-10
- ▶ 横浜市男女共同参画センター北 市民運営協議会2010-2013
- ▶ 藤沢市都市景観審議会委員2004-14
- ▶ 平塚市市政アドバイザー2013-14
- ▶ 港南区、保土ケ谷区等のまちづくり支援や、ヨコハマアートサイト等で助成金審査員

その他：

横浜市内立大学等でコミュニティ政策に関する非常勤講師。専門社会調査士、一級建築士。

宇都宮大学地域デザイン科学部教授、地域防災部門部門長  
一般社団法人とちぎ市民協働研究会副理事長。コミュニティ政策学会関東支部長、専門は市民参加論、地域自治。授業ではまちづくり論やNPO論を担当。

**「1人で見る夢は夢に終わる。3人いれば始められる。5人集まれば何でもできる」**をモットーに、まちづくり塾主宰、若者の社会参加の支援を行う。

委員等：

- ▶ 栃木県社会貢献懇談会会長
- ▶ 栃木県生涯学習審議会委員
- ▶ 宇都宮市みんなでまちづくり協議会座長
- ▶ 宇都宮市魅力ある学校づくり地域協議会座長
- ▶ 宇都宮市空き家会議座長
- ▶ 栃木市男女共同参画審議会会長
- ...
- ▶ 田村市集落支援員さんの企画づくり支援
- ▶ 福島国際研究教育機構まちづくり分野研究チームメンバー

## 地域組織再編



5つの自治会で。@横浜市戸塚区



地区と世代を超えたワークショップ  
@さくら市河戸

## 若者



地方の若者の居場所  
@日光市

## 中高生



土嚢作りを体験する2年生

中学校の防災訓練を楽しく  
@那須塩原市



高校生のまちづくり参加  
@真岡市

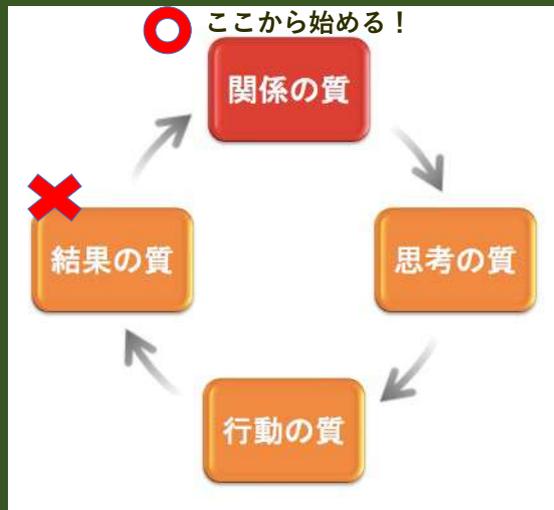
3

自己紹介代わりに

これからの地域づくりにおいて大切なことを「漢字1文字」で2つ教えてください。  
みなさんなりの観点やご経験から考えてください。

# 互いに自己紹介

活動や事業のグッドサイクルのために

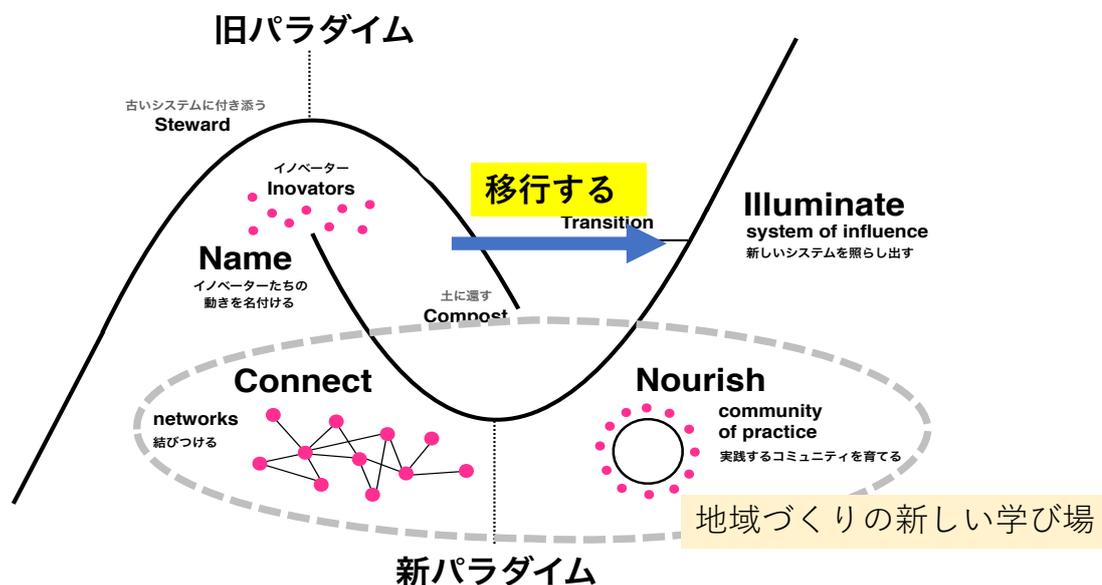


MIT (マサチューセッツ工科大学) の教授ダニエル・キム氏が提唱した、組織の成功循環モデル

今日の大きなお題

地域づくりへの関心を強め、実践に移ろうとする意欲づくり・・・

どのように解いていきましょうか。

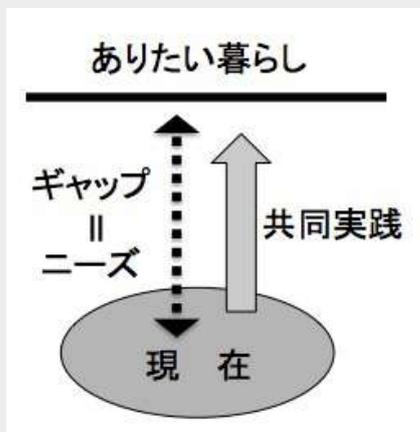


新しい時代は、これだという答えはないのだろう。  
これまでの進め方や、これまでの組織ありきでは  
限界があるのかもしれない。

どのように解いていきましょうか。

**仮説：**  
**地域づくりは、課題解決ではない。**  
**主体形成なのではないか。**

主体形成とは・・・



図序-2: 地域づくりが始まる

石井・霜浦、地域づくり実践講座、北樹出版、P4

地域づくりは、課題があるから始まるものではない。“こうありたい私（私たち）” “こんなことをしたい私（私たち）”、それに対して現実がある。ありたい姿と現実の間にあるのがその人に生まれるニーズであり、それらが一定の範囲内で集まったものが地域づくりとなる。

ありたい暮らしを構想するエクササイズが必要!!



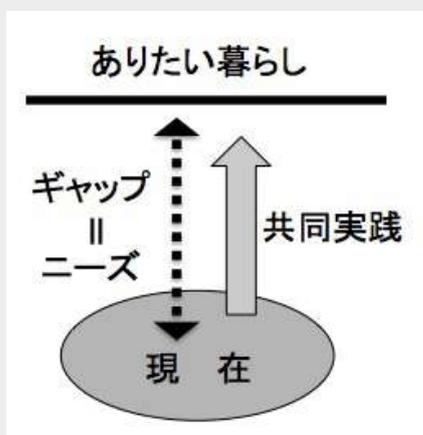
## 事例

# 何（なん）にもしない合宿



©静岡県地域づくりアドバイザー小田 圭介

## 主体形成とは・・・



図序-2: 地域づくりが始まる

石井・霜浦、地域づくり実践講座、北樹出版、P4

地域づくりは、**課題があるから始まるものではない**。“こうありたい私（私たち）” “こんなことをしたい私（私たち）”、それに対して現実がある。ありたい姿と現実の間にあるのがその人に生まれるニーズであり、それらが一定の範囲内で集まったものが地域づくりとなる。

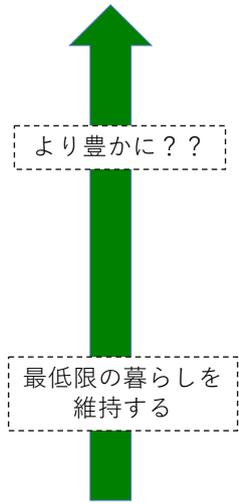
**ありたい暮らしを構想するエクササイズが必要!!**

# ありたい暮らしを考える

～ニーズから考える～



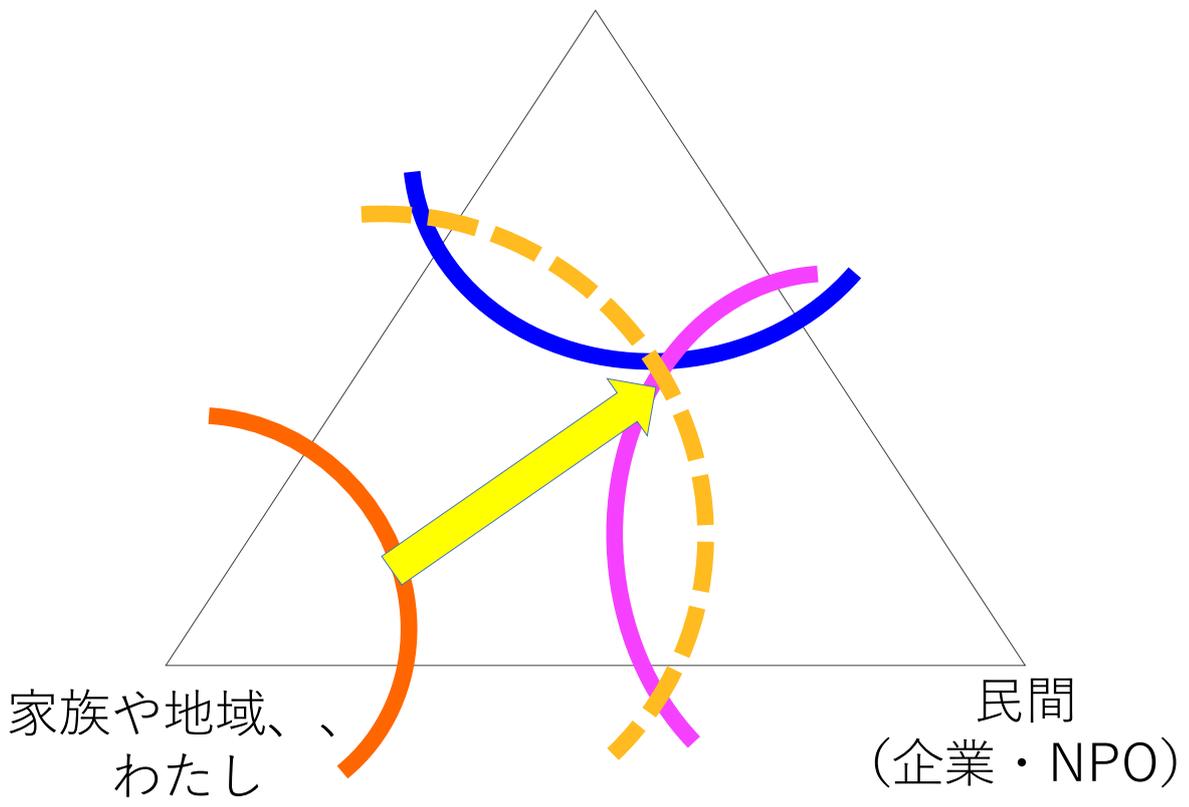
地域で出来ること



- <「したい」を仲間とともに>  
絵画、手芸、歴史研究などの  
グループづくり
- <居場所・活躍の場づくり>  
コミュニティカフェ、  
サロンの運営
- <空間的なニーズ>  
環境美化、防犯・防災
- <点(福祉)的ニーズ>  
見守り活動、移動支援、  
配食、健康づくり

## つくり手という視点

行政・政府



家族や地域、  
わたし

民間  
(企業・NPO)

# 事例



NPO法人 野沢3丁目遊び場づくりの会

子どもたちのために  
↓  
私たちも楽しみたい  
↓  
自治的な活動も誕生



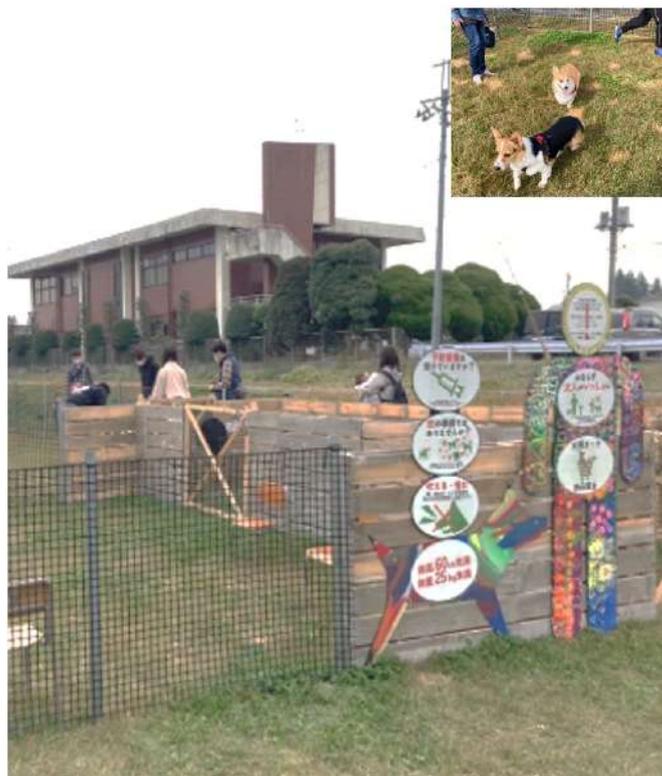
# 志縁型の組織をベースに

## これからのイベント

<p>2023.11.07 テットーパザー2023秋</p>	<p>2023.10.28 塚本さんランチ</p>	<p>2023.10.25 みんなのスマホ講座</p>
<p>2023.10.24 ベビーマッサージ</p>	<p>2023.10.21 子育てパパの対話会</p>	<p>2023.10.21 パネルシアターで楽しもう♪</p>
<p>2023.10.16 赤ちゃんの足のおはなし</p>	<p>2023.10.13 ベビーマッサージ</p>	<p>2023.10.09 親子クッキング</p>

# 事例

# 県が管理する河川敷で・・・



## 事例

巡回型、そして出番をつくって  
仲間を増やす



異年齢の子どものコミュニケーション



利用者が活動の理解者となり、月に一度くらいであれば手伝いたいと仲間になっていく。



大人も出番

事例：栃木県市貝町

17

### 共通する要素：

- ・わたしの〇〇してみたいという想いから始まる
- ・既存の組織や進め方のみではない
- ・3人集まったら、小さく始める

# アイスブレイク



いま、あなたが、自分のまちで  
やってみたいことはありますか。  
そして、その理由も教えてください。

# ギフトワーク



...て、青少年の活動に取り

番号	団体名
1	チャイルドパーク (母親サークル)
2	マリーちゃん会 (母親サークル)
3	マザーグース (母親サークル)
4	子育てサロン(おおきくなあれ)
5	子育てサロンボランティア
6	おもちゃコンサルタント
7	横浜市子育て支援者
8	横浜市子育て拠点 どんつぷ
9	読み聞かせ (キラキラぼっけ)
10	城郷小学校 読み聞かせボランティア
11	小机小学校 読み聞かせボランティア
12	朝キッズ (ほっとカフェ)
13	城郷学童保育
14	小机学童保育
15	城郷地区子ども会連合
16	城郷放課後プラザ
17	ボーイスカウト横浜20団
18	支え合い連絡会
19	よってこ会・ふれあいの会
20	青少年指導委員会
21	スポーツ推進委員会
22	城郷地区連合町内会

1 「What：こんなことしてみたい」

---

2 「Why：なぜなら」

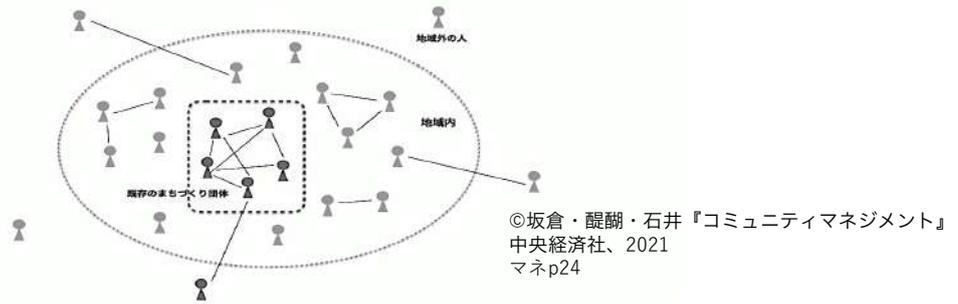
3 「With：誰と」

# 参加と関係のデザイン

- ・わたしの〇〇してみたいという想いから始まる
- ・既存の組織や進め方のみではない
- ・3人集まったら、小さく始める

# 既存の枠組みを超えて!!

段階1 一部のメンバーで地域活動を行なっている段階。活動やメンバーは固定的。



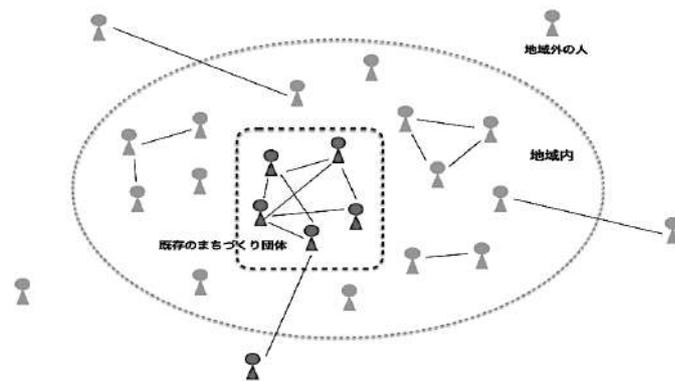
自治の4つの原則をさかさまから捉える マネP167

1. 境界がある →
2. 会費・会員制 →
3. 会則をもつ →
4. 地域を代表する性格 →

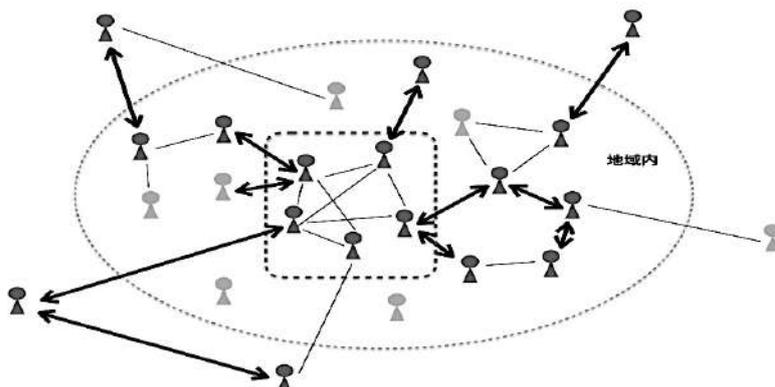
目録

23

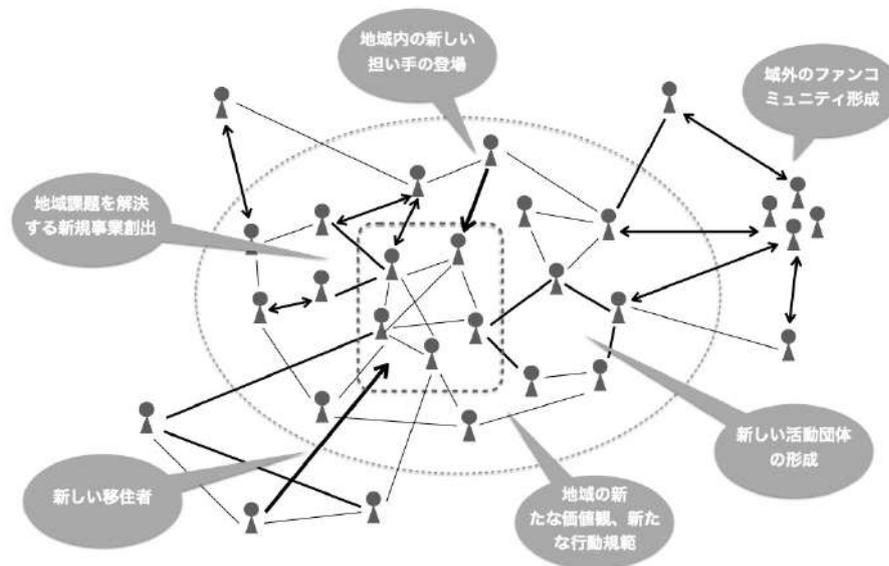
段階1 一部のメンバーで地域活動を行なっている段階。活動やメンバーは固定的。



段階2 地域内外の新しい人とつながり、一人ひとりの意識や行動が変わり始める。



段階3 新しい結合が起き続け活動が次々に生まれる。地域に新しい生態系が生まれる。



©坂倉・醍醐・石井『コミュニティマネジメント』中央経済社、2021

## 何か具体的にしたいことがない・・・

### 活動動機の構造（7つの因子）



#### ◆ VFIモデルについて（VFI：Volunteer Functions Inventory）

Clary や Snyder などが提唱。その後、日本の指標の開発が行われている。

桜井政成（2002）複数動機アプローチによるボランティア参加動機構造の分析—京都市域のボランティアを対象とした調査より—,The Nonprofit Review,vol.2,No.2, p 111-122, <sup>26</sup>

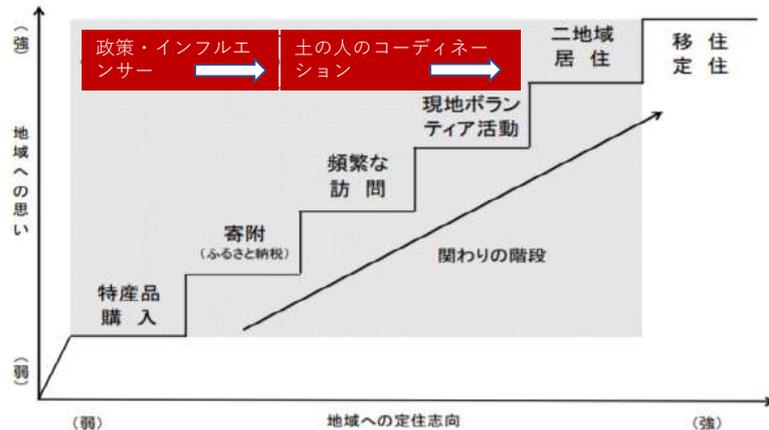
石井ほか「ボランティア経験のない高校生のグループ活動を促す支援と配慮に関する研究」日本福祉教育・ボランティア学習学会40-2,2023

新：グループ動機

## ■関係人口の定義

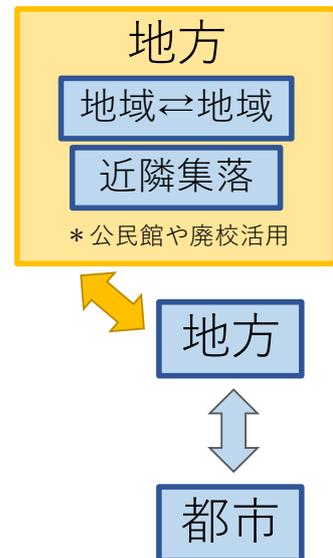
「観光以上、定住未満」の人々が居住地ではない地域に関わること

図表1 「関係人口」の位置・関わり方の階段



資料:日本農業新聞 2017年6月4日付「農村関係人口の可能性」より | 宇都宮大学石井研究室八木橋紗芳作成

マネp8



27

## 事例

学校を核として・・・

校庭の梅が地域ブランドを作る地域資源に!!  
～上三川中学校における地域学校協働活動～

お金が儲かる学校!



梅ジュース製造

28

# 事例

遠郊の休耕地をつなぎりとお金を産む場に

休耕地 × 自治会 × 飲食店 → 都市部の保育園

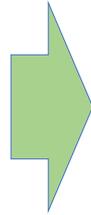


学習

親睦

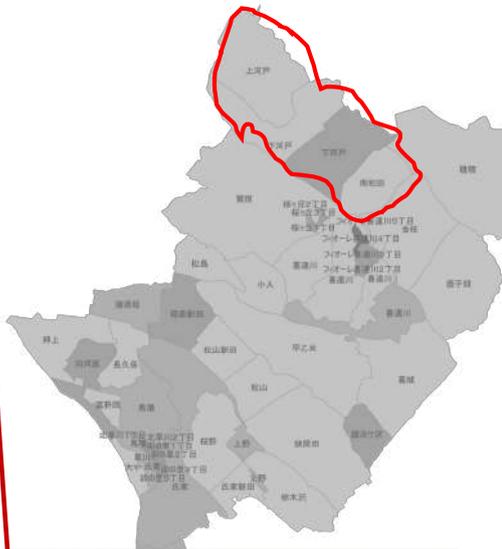


共同農園



都市と農村をつなぐには、「あいだ」に何か必要なのではないか

地域コンサルタントをつくっちゃえ!



## こうと会

- ・元行政区長、民生委員ら
- ・4行政区（旧こうと小）の仲間
- ・専門性やネットワークを發揮
- ・サロン活動、交流まつり、寺子屋、まちづくり勉強会など



# 事例

## 私が調査・実践していること： 地域企業や若者視点の地域（活動）

中古家具屋さんと自治会の連携による高齢者のQOLの向上

### うつのみや還元プロジェクト（還プロ）とは

東京新聞 TOKYO Web

【栃木】循環型社会へ  
プロジェクト発足 不  
用品処分行い、  
自治会費に還元

2018年11月11日

江曾島4丁目自治会様と活動開始



うつのみや還元プロジェクト活動に携わる皆さん。右から永祚さん、寺沢さん、AXIAスタッフの伊東真吾さん、山口さん、永祚さんの長男の平さん＝宇都宮市で

#### 【主な活動】

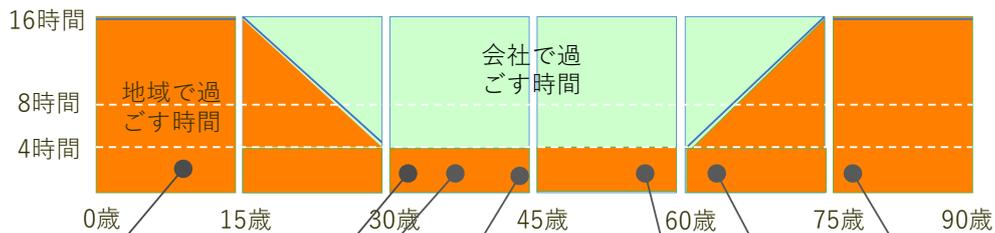
- ・ 不用品や住まいの無料相談会
- ・ 出前講座（宮スマ/住みやすい空間づくり）
- ・ 個別相談の対応

2022年5月23日付 東京新聞掲載

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/178979>

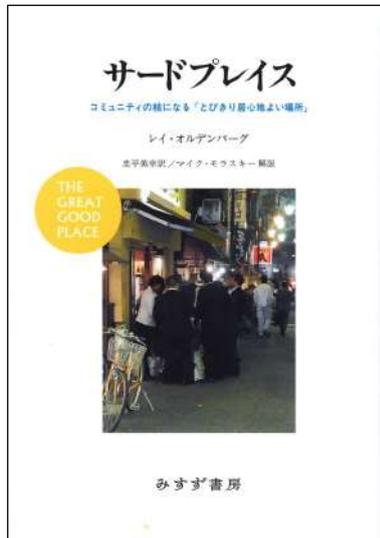


## インフォーマルな共の関係性をつくる地域の交流空間



# サードプレイスー コミュニティの核になる 「とびきり居心地よい場所」

アメリカの社会学者レイ・オルデンバーグ



コミュニティライフの“アンカー”ともなるべきところで、より創造的な交流が生まれる場所。あらゆる社会は既に非公式の出会いの場所を備えていて、意図的に、現在の社会的ニーズに重要なそれらを追及している。

成立の要件：

- 「無料または安価で利用できる」
- 「飲食が可能」
- 「アクセスがしやすい(徒歩圏内)」
- 「常連が集まる」
- 「快適で居心地がよい」
- 「古い友人と新しい友人の両方に出会える」

33

## 組織のかたちをつくる ～成長に応じて力をいれるポイント～



マネp

IIHOE川北秀人「支援力+協働力パワーアップ!!研修」岡山2012年5月19・20日資料をもとに筆者が加筆作成

34